

令和6年8月7日

各農業改良普及課

技術経営指導関係グループ班長 殿
関係各位

農業総合試験場普及戦略部
技術推進室（作物担当）

2024 Aichi 稲作管理支援情報 第4号

- 農総試（長久手市）の観測では、日平均気温は、7月第1半旬以降、第3半旬を除き、非常に高く推移しました。
- 作物研究部（長久手市）の発育ステージ予測（8月5日現在）では、今後の気温が平年並みに推移した場合、平年に比べ、
 - ・ 早生品種（愛知135号）：1日遅～平年並み
 - ・ 中生品種（あいちのかおりSBL）：1日遅～平年並みと予測しています。地域情報は栽培管理支援ツール AgriLook で確認してください。
- なお、発育ステージ予測は、気温と日長のみに基づいて行っています。予測が実際の水稲の発育と異なる場合もあります。穂肥指導に当たっては幼穂長を確認してください。
- 気象庁の1か月予報によると、気温は高いと予測されています。このため、登熟期間となる品種で玄米品質の低下が危惧されます。登熟期間の過乾燥や早い落水では外観品質が低下します。適正な水管理を行うよう指導してください。
- 農総試（長久手市）における成熟期予測（7月31日現在）によると、今後、気温が平年並みに推移した場合、「コシヒカリ」の登熟期間は、29～31日と昨年より2日程度短い予測になっています。
- 8月2日に病害虫発生予察注意報第6号（イネカメムシ）が発表されました。各地でイネカメムシが多いほ場が観察されています。引き続き防

除を実施するよう指導してください。防除方法は「あいちの病害虫情報」を確認して下さい。

<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/>

- ウンカ類情報第3号によるとトビイロウンカが7月2日に長久手市で1頭誘殺されました。三重県でもトビイロウンカが誘殺されています。また、ニカメイチュウの被害が目立つようになってきました。移植栽培、直播栽培とも、トビイロウンカとニカメイチュウに効果がある剤を使っていないほ場は注視してください。

添付資料：水稲生育診断情報（第3報）愛知農総試作物研究部作物研究室発行

連絡先：農総試普及戦略部技術推進室 電話 0561-41-8966（直通）

情報提供先：農業イノベーション推進室技術調整G、農業経営課環境・植防・肥料農薬取締G、園芸農産課稲・麦・大豆G、各農業改良普及課技術経営指導関係G、農業大学校、環境基盤研究部病害虫防除室、同病害虫研究室、作物研究部作物研究室、同水田利用研究室、山間農業研究所稲作研究室、愛知県経済農業協同組合連合会営農総合室、同農産販売課、同肥料農薬新技術課、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業共済組合、愛知県米麦振興協会